



[かなやスポレク会北川会長\(左\)とリアル野球盤協会鈴木会長\(右\)](#)

『リアル野球盤大会』というちょっと耳慣れない大会があると聞き、令和元年9月22日(日)、会場の金谷体育センターへ伺いました。私は初めて耳にしたのですが、実はもう何度も全国版のテレビ番組や新聞などにも取り上げられ、ご存知の方もいらっしゃるでしょう。

このニューレクリエーションの開発者は島田市の鈴木久雄さん。きっかけはつまらなそうに黙って散歩するおじいさんとおばあさんを見たこと。「楽しみながら運動できたらいいのに」と、自身が野球好きだったこともあり、日本中で親しまれている野球と結びつかないかと考えました。子供の頃に遊んだ野球盤が連想され、人が動いて楽しむ『リアルな野球盤』が思い浮かび・・・広い所で、人が動いて、転がるボールを扱う、歩いて進塁・・・「うまくいくと、これからの高齢化社会に役に立つレクリエーションゲームになるかもしれない！何とか自分で考えてみたい」と試し、改善を重ね、仲間も増えたことで現在に至ったそうです。



[投球のスロープ用具](#)



[バット代わりのスティックや捕球用のたも状用具など](#)

ピッチャーは青いスロープからボールを転がします。バッターは柔らかくできたその球を、ホームランなどと書かれた標的めがけてバット代わりのスティックで打ち返し、まさに卓上の野球盤そのままを人が行います。



守備では、タモ状の用具を持った二人が椅子からお尻を離さずに打球をすくい上げればアウト。失点を防ぐキャッチには、お見事！とばかりの歓声が上がります。攻撃チームもバッターの塁進やホームランには大歓声！塁を回ってホームに戻ると皆でハイタッチ。笑顔がはじけます！

塁を回るのも体力に合わせてゆっくりでよし。今大会では使用しませんでした、立ち続けるのが大変な人が塁に出たら椅子を使ってもよし。車椅子の参加者があれば打ちやすいスティックの用意もあり・・・等々誰でも無理なく楽しめるレクリエーションゲームです。普段杖を使っているお年寄りも、ホームランを打つと杖なしのまま笑顔いっぱい1塁からホームまで回る姿がたびたび。まさに「運動」と「笑顔」が共存しています！



昼休みや試合の前後には、体組成や血管年齢測定ブースに多くの方が訪れ、健康チェックや協力くださったシンコースポーツさんからのアドバイスがいただきました。



午後は室内版パタンの試合も行われ、合計の得点で順位が決まりました。



[優勝チーム インジョイしお の皆さん](#)



[審判などで大活躍してくれた金谷高校野球部ボランティアの面々](#)

第1回大会は島田市新市政10周年を記念して2015年に開催。是非継続して欲しいという要望から金谷スポ・レクの会が主催を翌年から引き継ぎ、今回で5回目。今年は東京八王子からのチームも来静し、20チームが参加しました。

遠く八王子から・・・？というのも、埼玉の西武ライオンズが「地域の高齢者と交流を図りながら健康づくりをしよう」というプロジェクトにこのリアル野球盤を取り入れ、埼玉県内で活動しているのですが、介護予防レクを捜していた八王子の方がそれを知り、昨年は視察に、今年はチームを作って参加くださったとのこと！いずれ八王子でも大会を開きたいと、前向きに取り組まれているそうです。実は北海道の日本ハムファイターズでも、2018年度までの4年間、用具の寄贈や普及活動で地域貢献活動をされ、北海道は静岡に次ぐ普及地になっているのだそうです。

県内でもこのゲームの存在や魅力はまだまだ普及途上かと思いますが、その広がりを知れば知るほど、静岡発のこのゲームの魅力は是非体験してみたくなりますね。

男性が興味を持ちやすいという点でも、高齢者から子供まで、そして障害のある方も楽しめるこのリアル野球盤が、これからもっと県内全域に広がり、盛んに行われることを期待します！



今大会90歳超えの参加者のお二人。とてもそんなお年には見えない若々しさにびっくりでした！

この競技に興味のある方は、リアル野球盤協会のホームページも是非ご覧ください。ご連絡は下記協会まで。

〒428-0039 静岡県島田市金谷猪土居2786-2  
リアル野球盤協会 鈴木 久雄  
090-1281-4578  
realykb24@gmail.com

ホームページ  
<https://realykbjimdo.com>

志太榛北地区担当特派員 増田昌江

[リアル野球盤協会](#)